



8月25日(日)センターコート

■2024年9月の予定表をお送りします。

お盆を過ぎてても過酷な暑さは続いていますが、9月になればもう少し過ごしやすくなることを期待しております。FJTCの練習会がお休みの間も、サマージュニアや中体連の大会で選手はがんばってくれました。熱中症にもならず無事に乗り切ってくれたことがまずは何よりです。

9月以降も三段池は大会などで、コート確保が難しく、変則的に午後練習がありますので、ご注意願います。

■9月23日は、三和荘テニス祭りへ！

別紙のチラシの通り、今年の日本テニス協会による「テニスの日」は、三和荘さんのイベントに協力する形で、FJTCとして参加いたします。例によってボレー&ボレー大会の他、的当てなど、お楽しみ企画も増やしましたので、ぜひご参加願います。また、初心者体験レッスンも開催いたしますので、テニスに興味関心のありそうな、お知り合いの方々に、お知らせいただき、イベント参加をお誘いくださいようますよう、お願い申し上げます。



■熱中症や脱水、感染症にも注意！！



練習には多めのドリンク(できればスポーツドリンク)タオルをお忘れなく！手洗いとうがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意！

■オリンピックについて

テニスの豆知識 96

テニスや野球、ゴルフのように、プロスポーツとして成熟してしまった競技にとっては、オリンピックのアマチュア精神がなかなかフィットしない部分もあります。ある意味、賞金やビジネスと関係のない所で、純粋に五輪アスリートとしてがんばっている姿は、美しいとも思います。

一方で、「勝たなければならない。」という競技団体や個人にとっては、精神論やきれいごとだけでは済まない部分があります。やはり勝つためには、それなりの仕組みが必要です。まず競技人口のすそ野を広げる普及が必要です。そしてタレントを育てるプログラムやスタッフ、施設が必要です。いずれにし



ても、大がかりな国家的予算がなければ、オリンピックでメダルを取ることは不可能です。そうして選ばれて強化されたアスリートは国策として日の丸を背負

うことになるわけですが、そういう世界と、たとえばスケートボードやブレイキンなどは、どうしても合わない感じがします。本来は「遊び」であるこれらの「競技」を極めてきた者にとって、その優劣を競って勝ち負けの世界に引きずり込まれるのは、果たして幸せなことなのか…。という？があります。

テニスもゴルフも、もともと遊びなわけで、国の名誉をかけてやるようなものではないと思うのです。そろそろ、オリンピックという、ナショナリズムによって誰かが儲けるためのイベントは、見直しても良いのではないのでしょうか。

次の協会の試合は、11月のダンロップ全国選抜予選

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>

代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail: info@kyoei.ed.jp